



○ 中学校の探究学習の内容と勝山高校の敷地内併設の関係について
○ 市役所職員・教職員の働き方改革の進捗状況について

その他の質問
・介護福祉の取り組みについて

富士根信子議員
優政一心会



【議】 中学校と勝山高校との連携がとれていない現状において、学校生活全体の環境を不安にまでなぜ、勝山高校の敷地内に新中学校を建設する計画なのか理解できません。勝山市唯一の中学校がもっと広々とした学び舎になるよう強く望みます。見解を伺う。

【理】 中学生の探究活動は、直面する課題に対して、各教科で学んだ知識や技能を教科横断的に活用して適切に対処していく力を育成する学習で、令和の時代における学校教育において大変重視されている。昨年度から、中高連携を進めるため、高校生が母校の中学校等を訪問する機会が増えた。卒業生が母校である中学校を訪問し、3中学校の執行部との交流を呼びかけるため訪問をしたが移動は先生方の送迎に頼らざるを得ない場所もあり、改めて、学校が近くになれば、このような活動もスムーズにできると実感し、様々な教育活動を効果的に進めるためにも、中学校を勝山高校敷地内に建設するメリットは大変大きいものであると考えている。

【議】 市長が着任してから頻繁に行われた市役所職員の人事異動ですが、本人の意思を明確に記した記録用紙はありませんか。働き方改革の推進には職員用の協働、信頼、助け合いが必要です。頻繁な異動が弊害になり職員の精神安定、業務遂行には不適切です。若手職員に最適な人材のもとで生き甲斐の持てる職場づくりを目指すべきだと考えるが、見解を伺う。

【理】 市役所という組織を適正に運営していくため組織の活性化や職員の人材育成が重要であり、若手中堅職員を対象としたジョブローテーションを積極的にを行い、行政運営を支える中核的役割を担う管理監督職員を育てあげていくことが肝要だと思っている。個々の業務に対する適性、保有する資格、スキル等の状況、本人や家族の健康状態を上司が把握し、提出された勤務自己申告書をもとに面談し、適材適所に応じた異動を行っている。人員配置は特定の職場だけを見て行うものではなく、全体を見通し長期的視点に立ち実施している。



○ 新中学校を勝高敷地に建設する計画の凍結と再検討を求める市民の声について
○ 新中学校の基本構想や基本計画と、大きな違いがある「基本設計案」について

その他の質問 ・ウクライナやガザでの戦争は、武力で問題は解決せず、国連憲章を守り、日本国憲法の「平和原則」を世界に広めることが、未来志向の理念と行動だ。・人件費削減や大企業減税・消費税増税などで「国際競争力をつけて日本経済は良くなる」という自公政権と補完勢力の「新自由主義」政策が、大失敗した。・新中学校の基本設計案の問題点について

山田安信議員
日本共産党



【議】 ①市民署名は9月議会以降も増え続けて8000筆を突破し、世帯過半数を超えている可能性が高いそうです。市長と教育長の受け止めを聞く。②市長も教育長も議員も市民も皆が納得する方法は、住民投票で決めて、結果責任も全て市民が負うしかないと考えますが、市長は、この提案を拒否しますか、それとも賛同されますか。

【理】 ①署名活動については昨年の9月頃に始まったのではないかと承知している。この1年3か月余りの間に各説明会や語る会等でいただいた多くの意見を踏まえ協議を重ね、再編計画や基本計画の推進について、広報かつやまなどでの周知を図ることで、ご理解やご支持の声が拡がっていると受け止めている。令和9年の開校に向け、引き続き市民の皆様にお示していくと共に、より良いものとしていくことが、信頼に添えることにつながるものと考えている。②市民の代表である市議会の議員方と協議・検討を重ねながら進めてまいりたいと考えており、住民投票といった形は現在では考えていない。

【議】 ①新中学校の基本設計で、突然、勝高グラウンドに野球施設ができず、高校野球は長山グラウンドを使い、中学野球は勝高グラウンドを使うと説明したが、高校野球がダメなのに中学野球ならできない理由と、高校サッカー部と陸上部は、どうするのか。新中学校を中部中や成器西小などで建設すれば問題は起こらない。

【理】 ②勝高プールを撤去して職員駐車場にするとか、勝高グラウンドを高校野球部が使えなくなることは、福井県や福井県教育委員会の了解を得たのか、口頭説明でなく、公文書の提出を求める。③部活動の活動場所については、地域移行の動きや少子化を踏まえた検討が必要であり、部活動設置と併せ、県と協議していく。④現在勝高のプールは使用しておらず、今後も利用計画はないと伺っている。基本設計案を今後県に説明し、勝山高校野球部についても協議していく。福井県や福井県教育委員会が了承したことを示す資料は現在はない。